

第八回「祖父たちの戦争体験をお聞きする孫の会」

シベリア行きを拒否、脱走成功。 が国民党軍として八路軍とも戦う！

「8月15日の早朝にはソ連軍の戦車部隊が攻めてくるというので、新京防衛のため戦車壕を掘り、蛸壺に渡された爆薬を抱えて14日午後配置についた。一人一両の戦車特攻だった。しかしソ連軍の戦車は現れなかった(あとで聞くと戦車の進撃スピードが早すぎて兵站が追いつかず、燃料切れで立ち往生していた事が判った)。15日午後1時過ぎに中隊長から終戦の詔勅が下った事を聞いた。虚脱状態になったが、それで日本の戦争も、自分たちの戦争も終わった」。

これは25日に行われた第八回「祖父達の戦争体験をお聞きする孫の会」(佐波優子さん主宰、亀戸のおごじ家で開催)で講師の西川順芳さん(82歳)が語った終戦間際の満州でのソ連軍との戦いの様子だ。16歳の若さで満州国陸軍軍官学校に入校した翌年の体験談だった。参加した約40人の受講者が熱心に耳を傾けた。

氏は武装解除をしたあと隊と行動を共にしては「間違いなくシベリアに送られる」と判断、「満州に親戚のいるものは帰ってよし」との上官の命を受けて脱出、シベリア行きを免れた希有の例。しかし、その後今度は蔣介石国民党軍に編入され長春に進駐、毛沢東八路軍との戦いを経験する事になった。氏は邦人引き揚げに伴い昭和21年9月に博多港に帰還するが、「出迎えてくれた多くの日の丸が嬉しかった」などと語った。(ニュース調こまで)



体調が厳しい中90分近くをしっかりと語ってくれた西川順芳氏。
明るく淡々と体験談を語ってくれました。

会場に到着してみると、この「おごじ家」というのは焼酎の品揃えで世界一という凄い居酒屋さんであることが判明(私は日本酒ばかり頂きました)。また渡された資料の中にB6/100ページからなる西川順芳さん著「ソ連軍の満州侵攻(上巻)」がありました。巻末に掲載されている経歴を見ると、引き揚げ後に慶応大学、富士電機、[富士通](#)、[台湾](#)との合弁等々、世界を股にかけて活躍、定年後も世界中に旅を企画しているとあります。

講演はなんと[ロシア](#)を中心にした世界史、イワン大帝から大航海時代、帝国主義の時代の講義が続き、本番に入ったのは中程から。これすべて暗記の語りでしたのでビックリ、大学教授や評論家の講演よりも迫力がありました。最強といわれた満州関東軍70万もどどん南方や本国に派遣され、大戦末期には正規軍はなんと三千人しかいなかったときいて驚きました。しかし本当に勉強になりました。

以下、当時の満州の雰囲気を知って頂くため、配布された小冊子から抜粋した文章を、またNHKが放映した「その時歴史が動いた」の動画を見付けましたので、当時の状況を理解する一助にと貼り付けました。この「祖父まご会」、いよいよ10月30日、31日には一泊二日の「京都舞鶴研修」が実施されます。



掘りごたつ形式の居酒屋さんでの講演会。そのまま食事会に移りました。
女性やお子様連れのヤングママも多かったです。

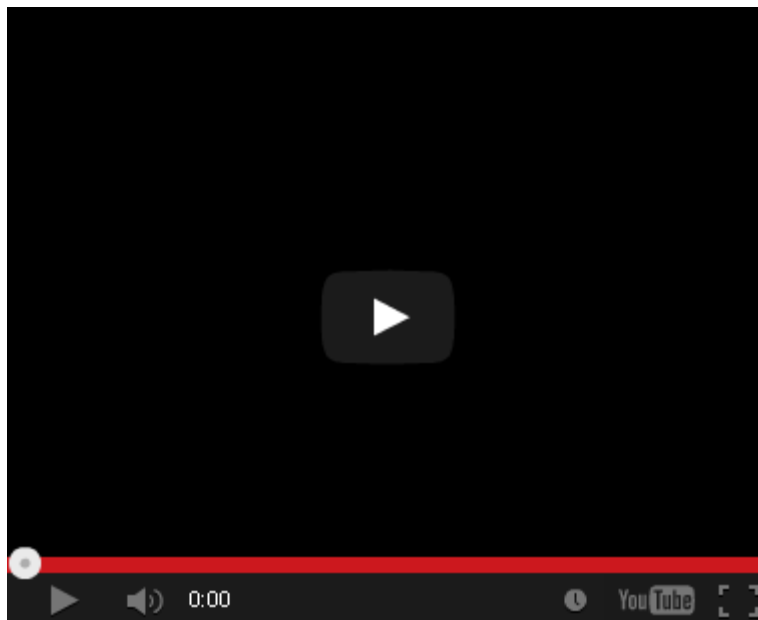
ソ連軍の満州侵攻(上巻)西川順芳編

薄れ行く満州の影

関東軍は「根こそぎ動員」で徴収した新兵による部隊を編成したが、新兵を訓練する将校が極端に不足していた。玉砕覚悟の前線残置部隊でも指揮官が不足していた。

陸軍士官学校本科を卒業した一般兵科の58期生は全て内地防衛部隊に隊付した。満洲国陸軍軍官学校予科出身の58期生(軍校3期生)だけが全員満洲に帰って来たが、満洲国軍にもどることなく、関東軍部隊に見習士官として隊付し、根こそぎ動員された日本軍の壮年新兵の教育や、玉砕予定の第一線陣地構築の指揮に当たった。

実際、新兵に与えられる小銃は十人に三挺程度、竹筒に紐を通した水筒を下げた、戦国時代の足軽のような姿の兵隊もいた。四列縦隊で新京市内を移動する隊列は、童顔の七期生(西川さんの同期)が見ても、とても実戦は無理なような「老人部隊」に見えた。新京には、このような新編部隊しかなかった。この部隊も大半は、間もなく通化方面へ転進して行った。

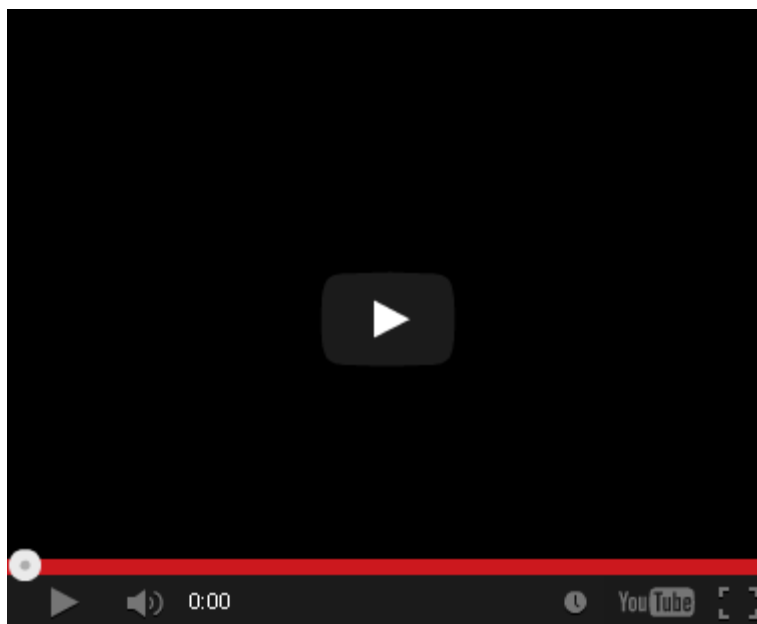


「そのとき歴史は動いた」がありましたので以下に
紹介します。頭に来る描写が多々ありますが…。

開戦の場合、関東軍総司令部は南嶺の戦闘司令所に移転することになっていたが、そこは地下防空壕を作りかけたまま放置され、電話線一本すら設けられていなかった。総司令部構内に防空設備はほとんどなく、職員の退避所や個人掩体も無かった。

通化では、これという基地作りも実施されないまま日を重ねていた。鞍山から移転する溶鉱炉の用地には第125師団の先遣大隊が移駐してきて駐屯し、作業は中断してしまっていた。満洲国総務庁は七月中旬、関東軍に連絡会議開催を申し入れた。満洲が戦場になる場合の対策を協議しなかった。しかし会議は、具体的成果を出すことはできなかった。

通化の陣地構築のための労務者十八万人動員問題は、討議を進めるうちに六万人になり、さらに三万人に減少した。関東軍側から、各都市に対戦車壕を掘りたい、満蒙系住民をゲリラ戦に動員したい、と提案があったが、いずれも満洲国政府側で拒否した。(中略)



相変わらず軍が悪い、指導者が愚か、日本国民は被害者だったというNHKの描写ですが、事実関係の把握には役に立ちます。

全満防衛会議

新京では七月二十五日から、関東軍主催の「全満防衛会議」が開かれた。国務総理張景恵、総務長官武部六蔵ら満洲国幹部、各省首席参事官、警務科長を集め、関東軍からは総参謀長秦彦三郎中将はじめ主務幕僚が参加した。

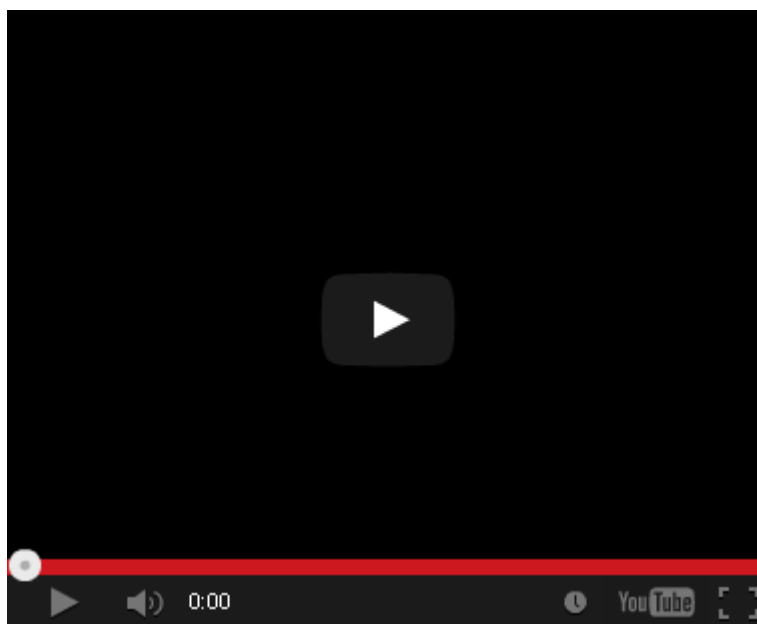
――近々ソ連の侵攻は必至。その場合、関東軍は本土作戦のため主力を移動したので非常に手薄であり、国境線を守ることができない。国都新京さえ危ない。

――作戦上、主力を通化の陣地に後退させ、そこで対決する方針である。

――各省とくに国境地帯においては、従来樹立の防衛策を各省の判断にもとづき、死力を尽くして対処してもらいたい。

と、要するに関東軍は当てにしないでくれ、それぞれに覚悟を決めてくれ、ということであった。此の関東軍の説明は率直であり、関東軍の実情を語っていた。

しかし、「根こそぎ動員」で不安感に誘われていても、本当の戦局を詳細に知らされず、[神話](#)的「無敵関東軍」の呼称に慣れている大多数の出席者にとっては、この関東軍の告白は夢想外であった。



●1945年8月9日ソ連満州侵攻・シベリア抑留

1/5 2/5 3/5 4/5 5/5

実質的に討議されたのは辺地の邦人、とくに開拓民の安全対策であった。関東軍側は「自決やむなし」と言ったが、政府側は東辺道その他、南満への避難を主張した。

政府は次のような非常措置要領を立案した。

- ①北満・辺境の開拓民を浜綏線(満鉄のハルピン・綏募河線)以南に移す。
- ②応召留守家族を開拓団本部に集結させる。
- ③八月末までに僻遠の地に在る開拓団を併合集結する。
- ④団長はじめ幹部の召集免除を関東軍に要請する。

しかし、この非常措置の実施は困難であった。目標を八月末としたこともあったが、広い満洲の果てに点在する開拓民にとって戦争切迫の実感は乏しかった。ラジオもなく新聞も届かない辺地であった。農民だから土地に執着するのは当然でもあった。日本の家郷を捨てて渡満し、生きるも死ぬもこの土地と決め、生活の根を下ろしはじめた農民たちであった。(後略)

【関連エントリー】

- 毛沢東軍と戦いシベリアでは炭坑労働に！ (2010/6/16)
- シベリア抑留者は奴隷だった！ (2010/5/17)
- 祖父たちの戦争体験をお聞きする孫の会・ソ連強制労働 (2010/4/25)
- 「祖父まご会」ビルマ独立を支援した日本！ (2010/3/26)
- 盛況！「あの戦争とは何だったのか？」(2010/3/1)



・自虐史観を吹き飛ばす映画「凧として愛」の拡散にご協力下さい。

これが正しい歴史、日本が好きな日本人は必見！

- ニコ動画版 凧として愛 [ニコ1/3](#) [2/3](#) [3/3](#)
- you tube版 凧として愛 [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#)
- 注目・名作映画 氷雪の門 [1/3](#) [2/3](#) [3/3](#)
- 誇り～伝えよう日本のあゆみ～ [1/3](#) [2/3](#) [3/3](#)
- 日本の童謡をいつまでも ふるさとーJAPAN
- めぐみ (日本語) [1/3](#) [2/3](#) [3/3](#)
- 日本がアジアに残した功績
- 真実はどこに・・・



カテゴリ: 政治も フォルダ: 指定なし   

コメント(7)

タグ: 祖父達の戦争体験をお聞きする孫の会 西川順芳 佐波優子 三輪和雄 ロシア 満州侵攻 関東軍 シベリア抑留

コメント(7)

コメントを書く場合はログインしてください。



Commented by [花うさぎさん](#)

2010/07/27 10:54

・イベントガイド H22/8/1(日曜日) 高金素梅に二度と日本の土は踏ませない抗議行動

[靖国神社](#)に眠る御霊に感謝する街頭演説会、ピラ撒き会
午前10時～ 九段下東京理科大前
主催 「桜組」「靖国の御霊に感謝する会」

「高金素梅の嚴重処罰と靖国の治安警備を求め」要望街宣
午後12時半～ 麴町警察署前
主催 「桜組」「靖国の御霊に感謝する会」

2010/07/27 10:54

「高金素梅に二度と日本の土は踏ませない」国民集会Ⅱ
午後2時15分～ 文京区民センター
主催 「高金素梅に二度と日本の土は踏ませない」国民集会Ⅱ
実行委員長 永田壮一(靖國自警団団長、靖國會事務局次長)
実行委員 沼山光洋 増木重夫 松谷祐子 永山英樹 西村修平 有門大輔 柚原
正敬 嶋田尊治 小川慎太郎 荻野弘子 郷右近夏美 松田晃平 藤島雄平
ご協力 靖國會 靖國自警団 靖国の御霊に感謝する会外国人参政権に反対する
会・東京 同・関西 桜組 他

現地事務局 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-7清瀬会館7階 靖國會内
090-3105-2030(沼山) 090-3710-4815(増木;事務担当)



Commented by [花うさぎさん](#)

パワーアップした呼びかけ人

○湯澤貞(靖國神社第八代宮司)○中條高德(英靈にこたえる会会長)○叡南覚
範(住職)○小田村四郎(李登輝友の会会長)○酒井信彦(元東京大学教授)
○[小林幸子](#)(二宮報徳会会長)○板垣 正(元参議院議員)○徳永信一(高金素梅刑事告
訴・告発代理人)○東條由布子○山田恵久(国民新聞社主幹)○栗原宏文(元愛媛大教
授)○藤井巖喜(国際政治学者)○三輪和雄(日本世論の会代表)○村田春樹(外国人参
政権に反対する会・東京代表)○小山和伸(神奈川大教授)○石戸谷慎吉(英霊奉賛日台
交流会)○門脇朝秀(あけぼの会会長)○三宅教雄(台南会会長)○藤田裕行(東京教育
研究会代表幹事)○渡辺真([新しい歴史教科書をつくる会](#)理事)○古賀俊昭(東京都議
会議員;第1次告訴告発人)○土屋敬之(東京都議会議員)○宍倉清蔵(千葉市議会議
員)○山本閉留巳(港区議会議員)○小坂英二(荒川区議会議員)
○大西宣也(町田市議会議員)○犬伏秀一(大田区議会議員)○大和田知裕(前日立市
議)

2010/07/27 12:47

情報によりますと、8月14日、台湾の立法院議員高金素梅は、社会文化会館ホール
(永田町)で行われる「平和の灯を!! [ヤスクニの間へ](#)」と題した身の毛もよだつような
集会に参加するようです。ということは来日?

皆様もご存知のように、高金素梅一行が去年の8月11日、突如靖國神社に現れ、マイ
クで「靖國No!」と叫び、あるものは賽銭箱をまたぎ土足で拝殿に入るという信じられな
い暴挙を行いました。ところが彼女は、刑法188条(礼拝所不敬罪)で麴町所に刑事告
訴・告発され、また4月4日には文京区民センターで「高金素梅に二度と日本の土は踏ま
せない国民集会」と題し集会を行い多数の方に声を上げていただいたにもかかわらず、
あつかましくもまた来るというのです。今度と言う今度は何としてでも食い止めなくては
なりません。

皆様の集会へのご参集と、靖国応援団が中心となり進めている告訴・告発(二次、三
次...)人に名を連ねていただきますよう合わせてお願い申し上げます。



Commented by [花うさぎさん](#)

・ニュース

[山教組の不正な選挙活動に「重大な関心」、自民・大島幹事長](#)

[自民党](#)の大島理森幹事長は27日の記者会見で、[民主党](#)の輿石東参院議員会長の支
持母体である山梨県教職員組合(山教組)による教育公務員特例法などに抵触した不正
な選挙活動について「[自民党](#)としても重大な関心を寄せている」と述べ、国会の場で民
[党](#)側を追及していく方針を明らかにした。

[自民党](#)は同日午後、下村博文政調副会長と義家弘介文部科学部会長が山梨入りし、
輿石氏を支援した山教組の選挙活動に関する現地調査を行う。大島氏は「しっかりと調
査した上で対処を考える。国会の場でも必要ならば質問をしなければならない」と語った。

<http://sankei.jp.msn.com/politics/situation/100727/stt1007271138004-n1.htm>



Commented by **usaginomimi** さん

2010/07/27 14:13

こんにちは。
渾身のエントリー、拝読させていただきました。

> 新京防衛のため戦車壕を掘り、蝸壺に渡された爆薬を抱えて14日午後配置についた。一人一両の戦車特攻だった。

↑驚きました。

まったく同じ話を、やはり大陸へ渡った人から直接聞いたことがあります。

彼は向こうへ渡ったとき、15歳だったか、16歳だったか。

学校を卒業するにあたり、先生からの勧めで渡ったそうです。

今考えると、恐ろしいことですね、先生の勧めだなんて。

彼の場合は農家の三男坊だったので、口減らしという意味もあったらしいですが、まだ年端もいかぬ少年が地獄を見たことに、戦慄を覚えました。

高金素梅の問題は、深刻ですね。

戦没者への冒涇だなんて、[アメリカ](#)や中国でやったら、どうなります？

これ、他国だったら、確実に殺されてしまうのでは・・と思いますが。

いくら穏やかな日本であっても、譲っていいラインを超えた行為だと思います。



Commented by **花うさぎ** さん

2010/07/27 14:50

To usaginomimiさん こんにちは。

> 渾身のエントリー、拝読させていただきました。

ありがとうございます。活字が多くてすみません。

> まったく同じ話を、やはり大陸へ渡った人から直接聞いたことがあります。

へえ～、偶然ですね、そういうこともあるのですね。

> まだ年端もいかぬ少年が地獄を見たことに、戦慄を覚えました。

大戦末期は陸軍も海軍も少年兵を十分な訓練無しで動員をかけてましたからね。

> いくら穏やかな日本であっても、譲っていいラインを超えた行為だと思います。

そう思います。ここまで日本人の名誉を否定する行動に出るとは許せませんね。おまけに法務大臣が千葉景子というのですから、何と情けない日本でしょうか。

正直、女性ですが「張り倒してやりたい」衝動を覚えますよ。



Commented by **イシコウ** さん

2010/07/27 18:51

祖父まご会に家族で初参加して来ました、大変興味深いお話を聞くことが出来てとても勉強になりました、それにしても士官学校出の方達というのは凄いですね、頭脳明晰にして身体強健しかも西川さんはユーモア溢れる方で、お話を聞いてウチの坊主も笑ってましたよ、ウチの爺様はシベリアで苦労した人だったので、その頃の空気感が少しわかった気がしました、夕食会も参加したかったのですが、静岡より車だったもので泣く泣く退席させて頂きました、花うさぎさんが、どの方だったのか分かりませんが、今度はご挨拶させて頂きたいと思います。



Commented by **花うさぎ** さん

2010/07/27 19:42

To イシコウさん こんばんは。

> 祖父まご会に家族で初参加して来ました、

それはわざわざご苦労さまでした。

> 頭脳明晰にして身体強健しかも西川さんはユーモア溢れる方で、お話を聞いてウチの坊主も笑ってましたよ、

最近気がついたのですが、ボケーと生きてきた人間と何が違うかというと、眼光、目の輝きが違うのです。そして記憶力が抜群、生死をさまよう体験をしてきているのに淡々と、さりげなく明るく語るのですね。要は特アと正反対です。

>ウチの爺様はシベリアで苦勞した人だったので、その頃の空気感が少しわかった気がしました、

良かったですね(^^)。

>今度はご挨拶させて頂きたいと思います。

ありがとうございます。私はやたらカメラを撮影して録音をし、時々動き回るおっさんです(^^)。